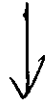


5 Amazon Effect

アマゾン・エフェクト/経済産業省
2016年7月20日

2020.9.28

1. あらゆるものがインターネットに接続され、
情報交換するIoTがもたらすビッグデータを、
AIを活用して効果的に分析し、
最適なソリューションを提示する。 という発想を世に出す



2. 今後更に技術的に発展していくであろう
クラウドの、その一連の処理を高速かつ安全に
支える

3. 社会の大きな変化 として、

同時進行で進む ITの急速な進化

何をもたらすか

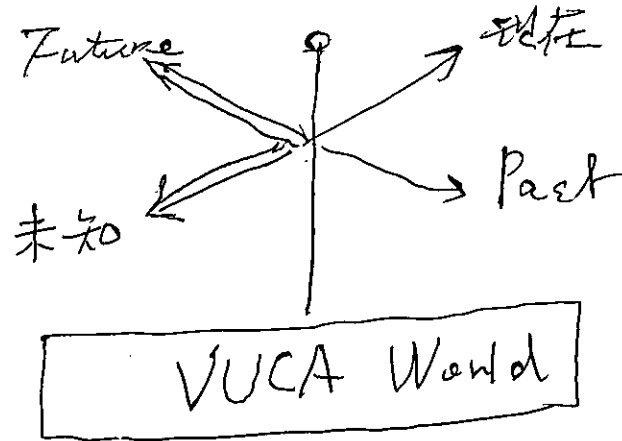
社会と 技術の相乗効果 が生まれる



ITを活用 生産性の向上

デジタルシフト

大きく変化する社会とIT



Volatility 変動性
変化が非常に早い

Complexity 複雑性
複雑化する世界

Uncertainty 不確実性
未来は予測が難しい

Ambiguity あいまい性
何の課題かわからない

更にグローバル化、的発想

人口減少、労働力不足

保護主義の台頭

劇的
不確実な劇的進化

クラウド技術の発展

AI/IoTによる仕事の変化

デジタルシフト

① IaaS Infrastructure as a Service
インターネット 仮想マシン、ネットワークストレージを提供

② PaaS Platform as a Service
ソフトウェア プログラミング（コード）の開発環境

③ SaaS Software as a Service
ソフトウェア ①②③の提供

この中で、インターネットを利用して
ソフトウェアをインターネット経由でクラウド
サービスとして利用する

セールスフォース (Salesforce)

グーグル・アプス (Google Apps)

現代の世界

VUCA (ブーカ) ワールド

Volatility 変動性

Uncertainty 不確実性

Complexity 複雑性

Ambiguity 曖昧性

発想の変化 (因言重転加 いまを重視)

井
日

いま

拡大

リアル = 相対的
近代的

木外 = 事典発想

合理的



← 好コロの傾向

索引 品揃への動き
利得をとり出す

相対的

取引先依存の

経験発想

静的 消極的 後回

事典発想

全体を俯瞰する

発想

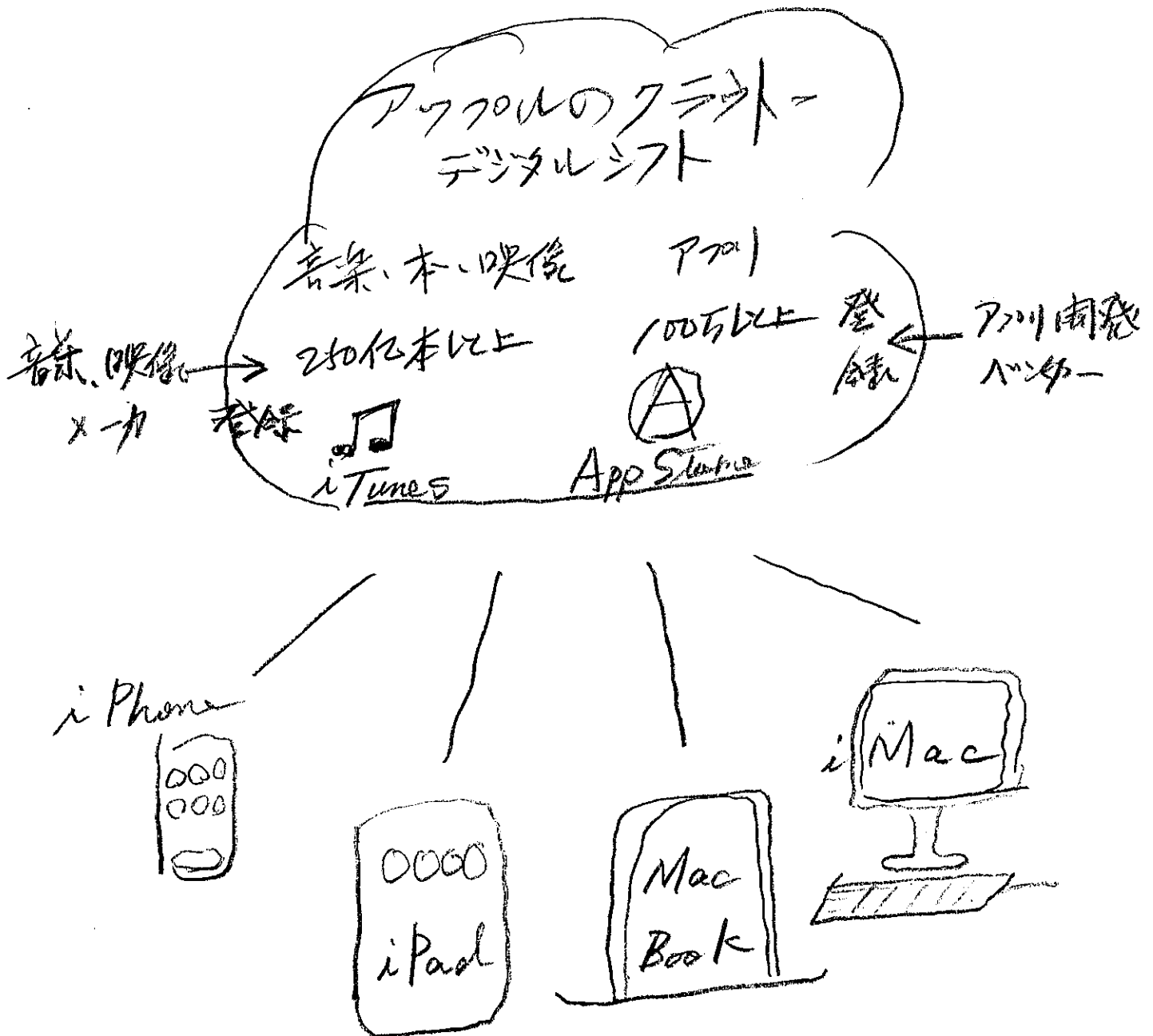
動的 積極的 前向き

マ-ケ-ト発想の品揃え
↑

売り場面転に
縛られ品揃え

マ-ケ-ト発想の品揃え

木外上での定例的制約は



顧客の情報も集めることで、無限のビジネスの展開

クラウド上の音楽やアプリの登録の進展

クラウド上の音楽やアプリの登録の進展

イートン・カレッジ 創設者

コンピュータサイエンス オハマ大流合 STEM
教育の重要性

S Science

T Technology

E Engineering

M Mathematics

教育レベルの差 → 国力の差

プログラミングの差

セブンイレブン (創業者の知り合い)

吉長を中心、自由な流通

独立運営店

全国の商業の改革の潮流へ

リアル店舗

(笑)

— 地域に密着した流通 —

その例

水戸

一方、(笑)

— 北海道の特産品 —

全国に広く入手可能

(拡大)

棚卸

→ 半出発 自由な流通

全国流通

本二社社中流通の最終形 (鈴木元全)

↓

創設の自由な流通

証券の転換

昔の商売 ^{株内の} 一部

今の商売 ^{株外の} 一部

(昔)の商売)

(今の商売)

ハイパー証券

高集証券
全長

- 情報を持っている
- 国産情報源
- 目利きで選別

- 情報を取りに行く
- 情報源の開拓
- 自己企画を棄

店舗証券

産生証券

来店客を見る

待ち姿勢

クレーム対応

アゲルを見る

自己取組む

周知を要する

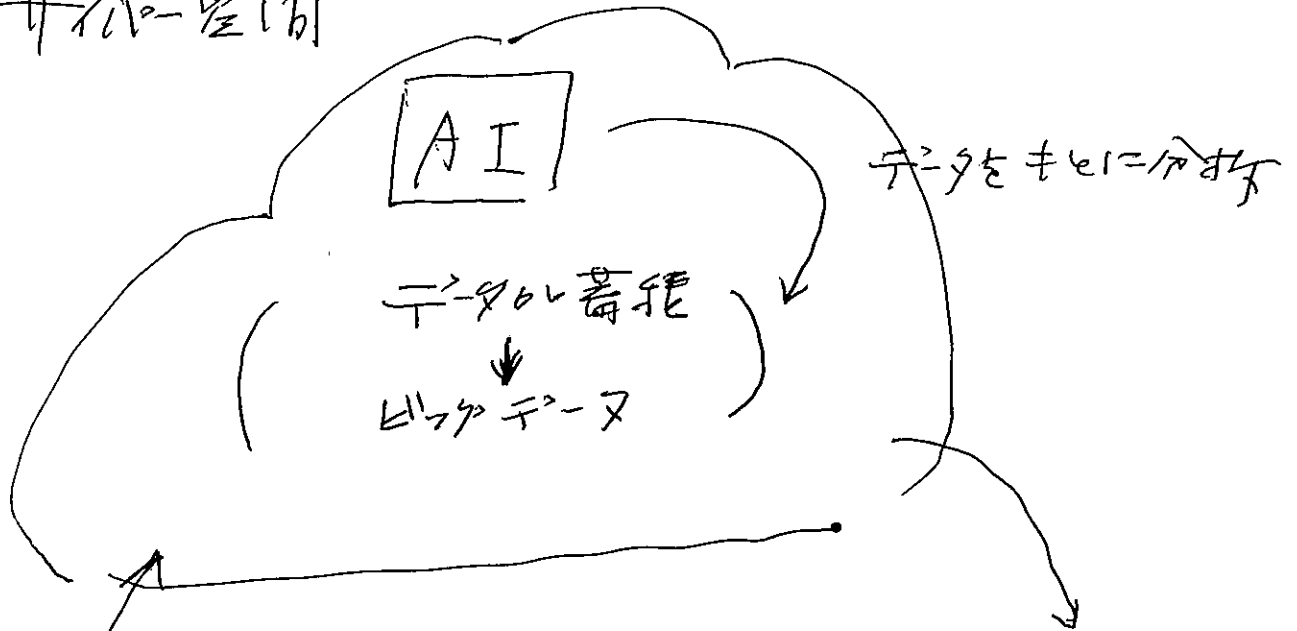
欠かさない

両方重要!!

欠かさない

デジタル時代への社会構想

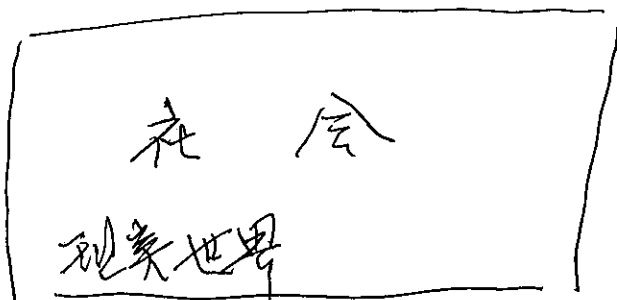
サイバー空間



現実世界のデータを送信

分析や予測の利用, 制御
(利活用)
EMS, スマートリ、自動運転

スマート社会, 機械, IT



課題解決

魅力的な商品

素材の選出



供給ルート



商品の開発



生産計画、確保

これらの
強味を發揮する
こと、魅力的な
商品を生み出す

オムニチャネルは デジタル時代の商品台帳

リアル時代の中の商品台帳



iPadの様なもの

⑤ プログラミング

2020.9.28

1. 基礎 スタート 初心者

HTML, CSS, PHP — 動画 Web
194/061 —

2. プログラミング Progate

2. manablog

1. 目標設定

2. 環境整備

3. 基礎理解

4. 学習開始

5. 実践開始

3 HTML

<h1> 2012年ラニニ7の世帯入3に元 </h1>

↓
見出し
headline 7桁7桁に表す元

<h2> Progate は </h2>

<p> オンライン 2029年ラニニ7の世帯入3に元 </p>

開始
7桁

終了
7桁
7桁/か入る

見出しと

段落を区別する

<h2> これは h2 2桁 </h2>

<h3> これは h3 3桁 </h3>

<h4> これは h4 4桁 </h4>

<h5> これは h5 5桁 </h5>

<h6> これは h. </h6>

<p> これは p 2桁 </p>

2 = 712

4 RFID 三線自動識別

Radio Frequency Identification

5 SPA 製造小売店

Speciality Store Retailer of
Private Label Apparel



Digital Consumer Retail Company

情報製造小売店

企画から商品や店頭まで一貫して
流行のズレや気候変動のため、顧客の嗜好行動が
予測しづらい。過剰在庫の発生も、
逆に欠品による機会損失のリスクも

その店頭やネット通販によるデータを収集し
顧客の嗜好傾向をAIなどで分析して活用して
把握し、生産・物流に共有し... 顧客が求める商品を
即時に提供可能に提供する (ネット、店舗)

6. ITは デジタルシフト

ICチップを埋め込む(RFIDタグ)
全商品に取付ける

販売部門、流行(売込額)、季節変動

----- の早期把握、在庫管理
早期在庫把握

早期売上(販売額)把握 ↓

流行
部門

売上商品の陳列

在庫、生産

材料の調達

人員配置

顧客変動への対応

売込、生産、在庫、仕入、価格

久 インターソフト ソフトバンク

創世 PCソフトウェア

2001年 ヤフーと共同のインターネット事業 ^{接続サービス}

フタバハコ (広域、高速度、大容量の情報伝達手段)
高速のインターネット接続環境

2006年

モバイル、インターネット時代の到来

1兆7500億円を投じてモバイル市場に参入

携帯電話事業に参入

2016-7

4770を制する者より4770を制する

世界最大の半導体設計大手ARMを

3兆3000億円に買収すると発表

8. 世の、アイフォーンビジネス

鈴木敏文

オムニ4xネルの3倍力の推進

需要やニーズの件に伝説をたて
結果を検証し、

次の伝説に生かすところ 伝説、検証

時代の転換期には、

目標する方向を定める、

新しいことに着手し、

徹底して進めに行く

加
地盤に水が滲透し、

あつた時点で爆発点を達し、

確たる破産(フレイグスワ)に陥る

お金の流れと賛成するものはあるが、

お金の流れと反対するものはある

9. 野村証券のソフトウェア

北尾吉孝

SPグループ

オンライン証券、銀行、保険から金融世

金融を融合して
ITと金融の元祖的融合

オリーブ・バンクグループ

店舗、2019 現在 500店 → 2024年 400店

人員

2026年 419,000人

人口減、超低金利の連続、国内需要の減少

ITと金融の急速な融合

と対比して

BKの顧客ベースとシステム上の本質への対応の遅れ

Riskについて

→ 失敗しないようにするには、自分の決断したいこと、
--- これは経営のリスク ---

→ 変化の時代には、リスクをとって挑戦したいという文化が
本質はリスクである

101. レガシーの壁 — 古い皮

既存の權威

古いもの

古い皮

ITを熟知し、世務にも精通し、

エンドユーザのニーズの変化を察知しながら

システムを活用して、新しいビジネスや事業を

展開するための人材の必要

IT時代のデジタル人材

IT人材とIT技術を企業内部で持つ

ネットからカスタマーファーストへ

11 日本と海外のIT技術者の所属と差
ITを生活利用に活用できる（生活者）の有無

(1) IT技術者の数

日本 1 : 米国 2倍
人口 127万人 327万人
1 : 2.5倍

(2) IT技術者の所属と特色

業務効率化や
コスト削減から
始める

75%のIT企業 米流
生活者のIT生活を理解して

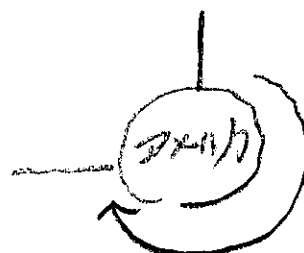
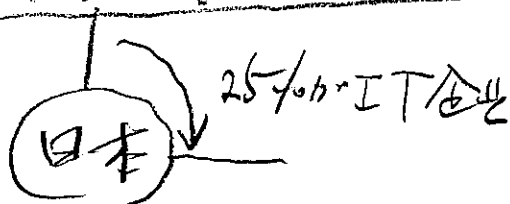
75%の一般企業

(3) システム開発

IT企業へ米流

企業が行う

ITを生活利用に必要とする意識がある



(4) 日本ではシステム開発は理系か

75% IT企業

やれる

12 IT活用はカスタマーファースト (日本の差)

矢張り本位

明確なIT戦略のもと
IT技術者からカスタマーファーストである
新しいビジネスを築く必要がある

企業の成長

↓
政府のIT投資

アマゾン 社員の半額をIT技術者から占める

業務の効率化 Y-10 → Excel
PIPS

乗り遅れる!!

古い皮をむく!!

どうしてどうして
~~~~~

止める. 停止する. 捨てる

~~~~~

インフラ

200人以上の技術者を抱えてアマゾンに対抗

↓

経営者の視座の重要性

しかもアマゾンは問題

振数、対数

2020.09.23
2020.05.25
2020.01.13
2020.02.04
2020.02.24

12-10月台返済額

利率 h

① a 円を n 月元金に返済するときの元利合計 $X = a(1+h)^n$ 円 ①

② 利率 h で月々 x 円づつ返済するとき

n ヶ月後の元利合計の返済額 X

$$x + x(1+h) + x(1+h)^2 + \dots + x(1+h)^{n-1}$$

$$X = \frac{x\{(1+h)^n - 1\}}{(1+h) - 1} = \frac{x\{(1+h)^n - 1\}}{h}$$

② $\frac{x\{(1+h)^n - 1\}}{h}$ 円

例 ① = ② (例)

$$① a(1+h)^n = ② \frac{x\{(1+h)^n - 1\}}{h}$$

$a = 1,000,000$ $h = 0.02$ $n = 30$ とすると
月利

$$1,000,000 (1+0.02)^{30} = \frac{x\{(1+0.02)^{30} - 1\}}{0.02}$$

$$1,811,362 = \frac{x(1.02^{30} - 1)}{0.02}$$

$$x = 1,811,362 \times 0.02 / (1.02^{30} - 1)$$

$$= 44,149 \text{ 円 と } 45$$

元利合計の計算

段階状の元利合計

「ある期間」後に α の利息がつく

$$1 + \alpha$$

連続状の元利合計

「ある期間」を k 等分し、それぞれに

β/k の利率で利息をつけつづける複利計算

をしてゆくとすると、「ある期間」後の元利合計は、

$$\left(1 + \frac{\beta}{k}\right)^k$$

α と β の関係は
とける

$$1 + \alpha = \left(1 + \frac{\beta}{k}\right)^k$$

そして、 k をとて大きくした極限は、 $\lim_{k \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{\beta}{k}\right)^k = e^\beta$

従って、 α と β の関係は、

$$1 + \alpha = e^\beta$$

$$\therefore \alpha = e^\beta - 1$$

この関係を x 期間後の元利合計の式、 $y = A(1 + \alpha)^x$ に代入すると

細菌の増えに連続的に増殖する場合の式は、

$$y = A(1 + e^\beta - 1)^x$$

$$= A(e^\beta)^x$$

これから、連続的に増殖していく現象について、

$$= A e^{\beta x}$$

x 期間後の量を表わす関数の形をとる。

y : x 期間後の元利合計、総数

A : 元金、最初の元金、スタート時の量

e : 指数関数

β : 利率、増殖率

x : 期間、 t 分とする

$$= A e^{\beta t}$$

$y = a^x$ — ① の導関数を求める

両辺の自然対数をとると

$\log_e y = x \log_e a$ となり、両辺を微分する

(1) ここで左辺 $\log_e y = u$ とおき、

$$\log y' = \frac{d}{dx} \log y = \frac{d}{dy} \log y \cdot \frac{dy}{dx} = \frac{du}{dy} \cdot \frac{dy}{dx} = \frac{1}{y} \cdot y' = \frac{y'}{y} \text{ とする}$$

$$\text{左辺は } (\log_e y)' = \underline{\underline{\frac{y'}{y}}} \text{ となる}$$

$$(2) \text{ 右辺は、 } (x \log_e a)' = \underline{\underline{\log_e a}}_{x \rightarrow 1}$$

$$(3) (1), (2) \text{ より } \frac{y'}{y} = \log_e a \quad y' = y \log_e a \text{ — ② とする}$$

(4) ① $y = a^x$ から ② は

$$y' = \underline{\underline{a^x \log_e a}}$$

$$(5) y = e^x \text{ から } y' = y \log_e e = e^x \log_e e = e^x \times 1 = e^x$$

$$\textcircled{1} y = a^x \rightarrow y' = a^x \log_e a$$

$$\textcircled{2} y = e^x \rightarrow y' = e^x$$

$$\textcircled{3} y = \log_a x \rightarrow y' = \frac{1}{x \log_e a}$$

$$\textcircled{4} y = \log_e x \rightarrow y' = \frac{1}{x}$$

指数関数 $y = a^x$ の微分公式の証明

任意の $a > 0$ に対し、 $y = a^x$ の導関数は、 $y' = a^x \log a$ である

(概ね)

$$\text{又は } y' = \log a \cdot x \cdot a^x$$

一般の指数関数 a^x を、既知の指数関数 e^x に変換させることが大切

(1) 定義に従って求める

$$\begin{aligned} a^x \text{ の導関数は } \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^{x+h} - a^x}{h} &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^x (a^h - 1)}{h} \\ &= a^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^h - 1}{h} \end{aligned}$$

ここで、 $a^h = e^{\log a^h}$ と表す。上式は

$$a^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^{\log a^h} - 1}{\log a^h} \cdot \frac{\log a^h}{h} = a^x \cdot 1 \cdot \log a$$

$$\left(\begin{array}{l} \text{よって } \lim_{t \rightarrow 0} \frac{e^t - 1}{t} = 1 \text{ (重要)} \\ \frac{e^{\log a^h} - 1}{\log a^h} = 1 \end{array} \right)$$

$$\frac{\log a^h}{h} = \frac{h \log a}{h} = \log a$$

(2) 対数微分法により求める

$$y = a^x \text{ の対数をとる} : \log y = x \log a$$

$$\text{両辺を微分} : \frac{y'}{y} = \log a \rightarrow y' = y \log a$$

$$\text{よって、} y' = y \log a = a^x \log a = \log a \times a^x$$

2. 減衰関数

(1) 目盛り... 減衰関数

ある期間ごとに、 α の率で減額が行われると
 x 期間後の残高は

単利の場合

$$y = A(1 - \alpha x)$$

増額の割合

$$A(1 + \alpha x)$$

複利の場合

$$y = A(1 - \alpha)^x$$

$$A(1 + \alpha)^x$$

ボートのオールを漕ぐのをやめると、

$$20 = 105(1 - x)^{41}$$

ボートの速度は、そのときのボートの速度に比例して

$$20 = 105(1 - 0.04)^{41}$$

(複利的に) 減少する。

(19.69)

不一致(?)

ある物体に含まれている放射性物質の量も

その物体の一生をとおる半減期で減少する

連続的に複利に減少する現象

$$y = Ae^{-at}$$

ある期間を k 等分して、それぞれ $\frac{a}{k}$ の率で減額してゆけば、
 ある期間後には 1 の元金のみ、

$$20 = 105e^{-0.04 \times 41}$$

$(1 - \frac{a}{k})^k$ になっている。

$$20 = 105 \times e^{(-0.04 \times 41)}$$

(20.367)

1ステップで減少した量に等しい等分するから α と a の間に

$$1 - \alpha = (1 - \frac{a}{k})^k \text{ の関係がある。}$$

(2) 増殖回数と同様に

$$\lim_{k \rightarrow \infty} \left(1 - \frac{a}{k}\right)^k = e^{-a} \text{ と成り、}$$

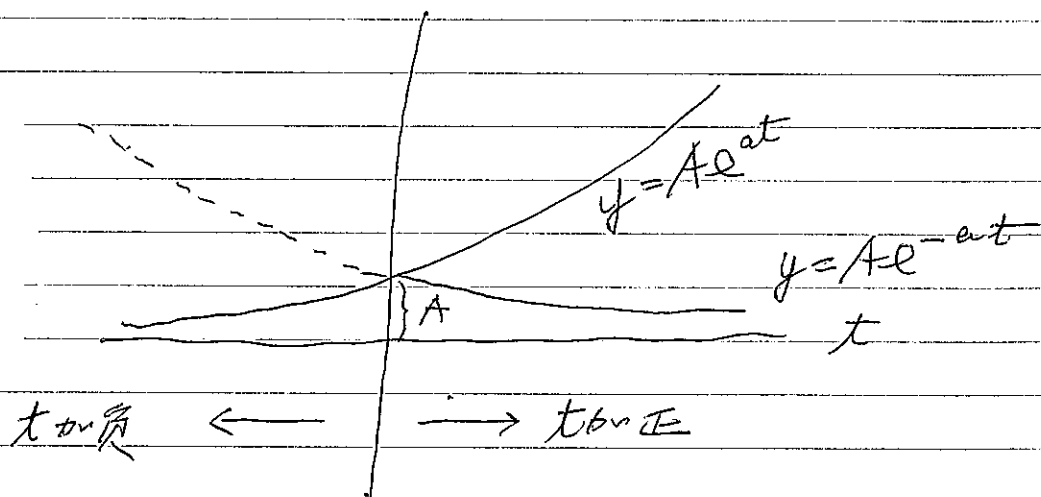
$$1 - \alpha = e^{-a} \text{ から得られ}$$

これを前頁の

$$y = A(1 - \alpha)^x \text{ に代入すると}$$

$$y = A(e^{-a})^x = Ae^{-ax} \text{ と成る、}$$

連続的に複利が増減する場合の式が得られる。



(4) 放射性物質 210 の場合

この場合、10日後に 0.95g となっていた

放射性物質の半減期は

$$y = e^{-at}$$

$$\begin{array}{lcl} y & \cdots & g \\ t & \cdots & \text{日} \end{array}$$

$$a \cdots \text{減少率}$$

$$0.95 = e^{-a \times 10}$$

e^{-x} が 0.95 になるとする x は $\log 0.95$ となる

$$a \times 10 = 0.05$$

$$a = 0.005$$

$$0.5 = e^{-0.005x}$$

e^{-x} が 0.5 になるとする x の値は 0.69

$$0.005x = 0.69$$

$$x = 138 \text{ (日)}$$

(5) 連続的に複利の減衰する現象は、

$$y = A e^{-at}$$

ただし、 A は $t=0$ のときの y の値

従って A が半分になる時刻は、

$$\frac{1}{2}A = A e^{-at}$$

$$\therefore 0.5 = e^{-at}$$

よして、この時

$$at = 0.69$$

後に半減期を T_h とする

$$aT_h = 0.69$$

$$T_h = 0.69 \frac{1}{a} \text{ となる。}$$

a は ランダム 226 では、 0.00048

ポロニウム 210 では 0.005 であるから

対象の性格によって定数である

(6) 平均寿命

平均寿命を T_m とすると

$$aT_m = 1$$

$$\therefore T_m = \frac{1}{a}$$

$$\text{半減期 } T_h = \frac{0.69}{a} = 0.69 T_m$$

$$\text{平均寿命 } T_m = \frac{1}{a} = 1.45 T_h$$

半減期は平均寿命の 0.69 倍、平均寿命は半減期の 1.45 倍
すなわちはじめから 10 分後に、水槽内の小魚は半分に減ってしまった。

小魚の平均寿命は $10 \text{ 分} \times 1.45 = 14.5 \text{ 分}$ である。

隠れ場所のない広野で作業中、巨大なシロカ降りはじめ、
1 分間に 10% の人たちが倒れた。

50% の人たちが倒れるのは 5 分後か。平均寿命はいくらか。

$$0.9 = e^{-a \times 1 \text{ 分}}$$

$$a \times 1 \text{ 分} = 0.1 \quad (\text{表 1 の指数関数表より})$$

$$\text{すなわち 半減期 } T_h = \frac{0.69}{a} = 6.9 \text{ 分}$$

$$\text{平均寿命 } T_m = \frac{1}{a} = 10 \text{ 分}$$

炭素 14 の半減期

- (1) 炭素 14 は放射性炭素ともいわれ、半減期は 5,730 年 である。
- (2) 大気中に含まれる炭素 14 の割合は一定であり、生きている生物も炭素 14 の割合は大気中の割合と同じである。
- (3) 生物の死ねと炭素 14 の供給がなくなり、崩壊だけが続くので、死んだ植物の炭素 14 の割合を調べると死んでからの年数に推定できる。

(問 1) ある木棺の炭素 14 の割合を調べたら、75% に減っていた。

このとき、この木棺の年代は $t = \text{残存割合}$

炭素 14 が 1 年で ① 倍 に減少するとして、

この木棺の x 年前のものだとすると、

$$t^x = 0.75 \quad \text{また} \quad t^{5730} = 0.5 \quad \nearrow \log t = \frac{\log 0.5}{5730}$$

$$x \log t = \log 0.75 \quad \text{--- ①} \quad 5730 \log t = \log 0.5 \quad \text{--- ②}$$

$$\text{① ② より} \quad x = \frac{\log 0.75}{\log t} = \frac{\log 0.75}{\frac{\log 0.5}{5730}} = \frac{\log 0.75 \times 5730}{\log 0.5}$$

$$\left(= \frac{5730 \times \log \frac{3}{4}}{\log \frac{1}{2}} = \frac{5730 (\log 3 - 2 \log 2)}{-\log 2} = 5730 \times 0.4150 = 2378 \right) \text{ 年前}$$

然終は死後も 一季札一 札 zhá 想要什么样 没有

季札之初使、北过徐君。徐君好季札剑、口弗敢言。

季札心知之。为使上国、未献。还至徐。徐君已死。

於是乃解其宝剑、系之徐君冢树而去。

从者曰、徐君已死、尚谁予乎。 李子曰、不然。

始吾心已许之。岂以死倍吾心哉。 岂 岂 倍 bei 背

手紙を批判を行つた。林彪と四人組を批判した。

邓は、毛沢东思想の本質は、「实事求是」、すなわち、事実に
基づいて真理を述べることであるという解釈を求む。

それ、人材を掘り出すを促した。

邓は、文化大革命中の混乱の原因で、この世のついで者、人材不足のため、
秋に収穫した穀物は、晩春の穀物不足にたとえ、秋に収穫した穀物は、
足りかけていると、大規模の穀物は、突如として、人々の必要を満たさない
状況も解決することの急務だと書いた。

党指導部は、「大躍進」と「文化大革命」という後戻りの責任の
覚悟を認めなかった。そのために何をしても、民衆の信頼は
得られなくなっていた。

邓小平 エン・ダウ・チン 本質

中国にあれば、日本政府とすれば、中国の基礎を揺るがすのであることを
認めさせます。そのために何をしても、中国農民の信頼は得られない。

新基地反対。中国の繁栄一丸に力を入れている。

PLUS

史記(3) 武帝

ことばの贈答

王先生

武帝時、^{zhēng}徵北海太守、詣行在所。有文學卒史王先生者。

自請与太守俱。君有恙然君、君許之。

諸君曰、
屬領、細近

太守曰、先生意欲行。不可逆。

王先生在宮下、待詔宮門。王先生曰、天子即問君何以治北海令无盜賊、君對曰何哉。太守對曰、“選扶賢材、各任之以其能、賞異等、罰不肖。”

王先生曰、對如是、是自譽自伐功、不可也。承君對言、
かのこと答へる。 自画自賛

“非臣之力、盡陛下神靈威武所變化也。”太守曰、諾。
〜とこの変化なり

召入至殿下。有詔問之曰、何如治北海、令盜賊不起。

太守叩頭對言、“王先生的言” …

武帝大笑曰、然乎、安得長者之語而稱之。帝所復之。

對曰、受文學卒史。帝曰、今安在。對曰在宮門外。

有詔拜王先生為水衡丞、^{哪里}北海太守為水衡都尉。

臣曰 善哉可以市、尊行可以加人。君子相送以言、小人相送以財。
善乃此也 此也

史记(4)

衣食是りてこれ

得农而食之、虞而出之、工而成之、商而通之。

此宁有政教发'微期会哉'。 人各任其能、竭其力。これは上からの3会制によって形成されたもので作はい以得所欲。故物贱^賤无微^微贵、贵无微^微贱、各勉其业、

乐其事、若水之趣下、日夜无休时、不召而自来、

水が低いところに

不求而民出之。岂非道之所符、而自然之验邪。

范蠡 楚人、会稽の戦い、越王勾践を助けて吳を滅亡させた。後、野に下り、陶朱公と称す。

朱公长男竟持其弟襄归。至、其母及邑人盡哀之。唯朱公独笑曰

吾固知必杀其弟也。彼非爱其弟。顾有所不能忍者也。

是少与戎俱、见苦为生难、故重奇财。至如少弟者、生而

见戎富、乘坚驱良逐狡兔。岂知财所从来。故轻奇之、

非所惜者。前曰吾所为欲遗少子。固为其能奇财故也。

而长者不能、故卒以杀其弟。事无理也、无足悲者。吾日夜

固以望其长兄来也。

武帝が漢帝にこの学問として儒教を採用した理由は、
法家思想よりも倫理性をもつ、その統治効果に着目したからである。

しかし実際は、根本は法家思想によりながら、儒教の徳治を以て
表面を粉飾する、この二重構造によって漢帝の思想は形成され、

実用化されたのである。

(武帝の政治)

(1) 法家思想による統治

経済帝王、独裁の実

(2) 儒教の徳治を採用

CSR 体制維持の道具

孔子は徳治主義をとらせ、人間の倫理的向上によって社会の混乱を
救おうとした。孟子は「革命」の論の立場に立て、湯・武の桀・紂討伐
に賛成する。しかし武帝の頃には孟子も批判し、支配者の絶対的权威を
認める論となり、革命を口にする者はいた。荀子の になっていた。
儒家の思想は、官に召し抱えられ、思想統一の道具として生き残った。

武帝は、法家思想よりも倫理性を持つ儒家思想に統治効果を始め、
根本は法家思想によりながら、儒家の徳治主義で表面を粉飾した。
この二重構造によって漢帝の思想は形成され、実用化されたのである。

史记 (6) 老子

No.

Date

老子曰、子所言者、其人与骨皆已朽矣、

独其言在耳。且君子得其时则驾、不得其时、则蓬累而行。

吾闻之、良贾深藏若虚、君子盛德容貌若愚、

去子之骄气与多欲态、无与淫志。是皆无益於子之身。

吾所以告子、若是而已。

孔子去、谓弟子曰、鸟吾知其能飞、鱼吾知其能游、

为罔、游者可以为纶。至於龙、吾不能知其乘风云而上天。

吾今日见老子、其犹龙邪。

孔子问礼於老子。老子曰、子所言者、其人与骨皆已朽矣、

独其言在耳。且君子得其时则驾、不得其时、则蓬累而行。

吾闻之、良贾深藏若虚、君子盛德容貌若愚。

去子之骄气与多欲态与淫志。是皆无益於子之身。

吾所以告子、若是而已。

史記(7)

すし

劉向

BC 305 ~ 280

陰陽五行説

漢代の思想、陰陽家

陰陽説と五行説を合え、宇宙の生成を説き、かつそれに基づいた王統の終焉の説をもつ。九州世界の存在と五行(五徳)の循環による王朝の交替を説いた。

不
其語曰大經、必先驗小物、推而大之、至於無限。

先序今以上至黃帝。推而遠之、至天地未生。先列中口名山、大川、滄海、

因而推之、及海外人之所不能睹。以為、儒者所謂中口者、於天下

八十一分之二分耳。中口禹之序九州是也。不得為州數。中口外

如赤黑神州者九。乃所謂九州也。於是有所謂海環之。

人民禽畜、無能相通者。如為一州、如此者九。

毛沢東同志の肉庫いんてい書くときは、誇張してはならない。

でなければ毛沢東同志の名譽を損うことになる。

でなければ、おの虎と一虎の名譽も損われぬことに注意せよ。

その目的と要旨は、

(1) 毛沢東思想と毛の歴史的地位を肯定的に評価する

(2) 实事求是の精神で、文化大革命中の過ちを反省し

(3) 人々の結束に未来に眼を向け張りつめた総動員を下す

叔孫通 (劉邦に礼を提せ)

叔孫通使徵魯諸生三十余人。魯有兩生不肯行。曰、

公所為不合古、吾不行。公往矣。无污我。

叔孫通笑曰、若真鄙儒也、不知時變。

遂与所徵三十人西。及上左右为孝者与其弟子百余人为绵蕞野外、

习之月余。叔孫通曰、上可试冠。上冠、使行礼。曰、我能

为此。遂令群臣习肄。会十月。

於是高帝曰、吾遇今日知为皇帝之贵也。

易经 天地、陰陽、四季、五行の運行を明にせ、それ故に変易を以て記している

礼記 人倫を秩序たせ、それゆゑに人伦の行を正すに記している

書経 古聖王の事蹟を記録せ、それゆゑに政道に記している。
事類を教ふる

詩経 山川、溪谷、鳥獸、草木、男女を記せ、それ故に礼誨に記している。
心情を記せる

樂経 音楽の根底を有る、それゆゑに調和に記している。
調和を教ふる

春秋 是非を辨别せ、それゆゑに人伦の行動を規制するに記している。
大義を教ふる

礼記は人に節度を保たせ、樂経は調和をうけかし、書経は事類を教ふる

詩経は心情を記せ、春秋は大義を教ふる

道者无为，又曰无不为。其实可行，其辞难知。

其术以虚元为本，以因循为用，无威势，无常形。

故能察万物之情，不为物先，不为物后，故能为万物主。

有法无法，因时为业。有度无度，因物与合。

史记(10)

易著天地阴阳四时五行，长於变。

春秋并是非，故长於治人。

易以道化，春秋以道义。

故易曰：失之毫釐，差以千里。

5

2019.07.29
2018.05.28
2018.01.29
No. 2017.10.23

Date 2017.11.27
2018.07.30
2018.10.01

史記(1)

史記に登場する人物は、4000人前後との推定といわれている。 2020.03.30

2020.05.25

人々 ... そのからめあいの歴史を作っている。 2020.02.23

AとBの違いは何か、今度はAとBの歴史を作るかもしれない

(管鮑の交わり)

人々の関係の基本的な形がそこにはある。

管仲者吾者類上人也、少时常与鮑叔牙游。鮑叔知其賢。

管仲貧困、常欺鮑叔、鮑叔終善遇之、不以為言。

管仲囚焉。鮑叔遂進管仲。管仲既用、任政於齊、齊桓公以霸。

九合諸侯、一匡天下、管仲之謀也。

管仲曰、吾始困時、嘗与鮑叔賈、^財利多自与。鮑叔不以我为貧、

知我貧也。吾嘗为鮑叔謀事而更窮困。鮑叔不以我为愚、知时有

利不利也。吾嘗三仕三見逐於君。鮑叔不以我为不肖、知我不遭時也。

吾嘗三战三走。鮑叔不以我为怯、知我有老母也。公子糾敗、召忽

死之、吾幽囚受辱。鮑叔不以我为无耻、知我不羞小节、而恥功名

不顯于天下也。生我者父母、知我者鮑子也。

鮑叔既進管仲、以身下之。天下不多管仲之賢、而多鮑叔能知人也。

--- 故曰、知与之为取、政之基也。-----

卑怯 bēi qiè 怯懦 qiè nuò 无耻 wú chǐ 貧欲 pín yù 貧乏 pín fá
貧窮 pín qióng

漢代の長安

史記

(60)

